

鎌倉を守る党は、既存の政党とは違い、地域の皆様の声を拾い、地域の皆様と政策を考え、地域の皆様と一緒に提案・実現を目指していく地域密着型の政治団体です。

市役所本庁舎移転について、現状の市の提案では賛成できない！

深沢地域の再開発や防災面での利用等については大賛成ですし、私自身どんなまちになるのか楽しみではありますが、市役所本庁舎移転については現状賛成できません。

観光都市鎌倉と言われていますが、法人市民税による収入をみても約13億円[※]しか無く、歳入構成比はたったの3.6%です。^{※令和5年度決算カードより}

現状の鎌倉市の提案では、市役所本庁舎移転に伴い、消防・図書館・学習センター・交流スペースなどの機能が集約されすぎていて、全てが中途半端な規模になってしまいます。

鎌倉を守る党の重黒木ゆうへいは、稼げるまちづくりを行うことと、深沢地域を本当の意味での鎌倉地域・大船地域に次ぐ第三の拠点にして市内全域へ人の流れを作ること、混雑の緩和や税収増が見込めると考えます。

また、市民の居場所づくりを重視するのであれば大和市文化創造拠点シリウスを参考にするのも良いと思います。



鎌倉市ホームページ「新しい市役所」のイメージの具体化―新庁舎等基本設計等業務公募型プロポーザルにおける最優秀提案者の決定について」より

賛否両論があるからこそ、4月の鎌倉市議選の選択が重要に！

4月20日(日)告示の鎌倉市議会議員選挙では、26名の議員定数に対して40名程の候補者が出馬すると予想されています。また、選挙直後に行われる6月定例会で市役所本庁舎移転についての条例案が市長から提出される可能性も高まっています。だからこそ、市役所本庁舎の移転については現職議員の賛否だけでなく、新人候補者の賛否も重要になってきます。

選挙はもちろん、市役所本庁舎移転はまちの様子がガラリと変わる、市民の皆様にとって大きな問題となります。ぜひ一人一人に、この問題について賛成か反対か、代替案はあるのか等、しっかりと聞いてから判断する必要があると考えます。

事務事業評価シートを徹底的にチェック

議会は二代表制に基づき市長(行政)の監視、チェックをすることが大切です。

役所が行っている仕事の最小単位の確認ができる事務事業評価シートというものがあります。これをチェックすることで税金の使途に無駄がないかを確認することができます。事務事業評価シートを徹底的にチェックすることによって、自治事務で不要なものはカットし、必要なところに予算を回すことで税金の無駄遣いを無くし、市民サービスを向上させ、減税に繋げることも可能になります。

観光客招致より、観光客対策を！

鎌倉市の歳入(一部抜粋)は、個人市民税約180億円に対して、法人市民税は約13億円しかありません。^{※令和5年度決算カードより}

市の予算は、観光客招致よりも観光客対策を優先的に考え、市民生活を守ることに充てていく事を提案致します。

観光客のゴミ問題を解決！

現在も鎌倉市ではゴミ捨てに関するマナーについて、多言語での案内に加えてピクトグラムを掲示する等の対策が行われており、ポイ捨てをしないよう、ゴミの持ち帰りも推奨しています。しかし、そもそも観光地ではゴミ箱が少なく、マナーを守ろうとしてもゴミを捨てられないという観光客の悩みを解消すべきです。観光案内所などの近くに有料ゴミ箱を設置し、ゴミを捨てるとガチャガチャが楽しめるコインを配布する等、市民の負担を軽減しながら、美しい景観を守り、観光客には便利で楽しい体験を提供します。

観光客から暮らしを守る！

観光産業が地域住民を犠牲にするようなことはあってはなりません。特に訪日外国人に関しては、マナー違反、白タク、渋滞、ホテルでのゴミ放置、外国人免許切り替え等の対策が急務です。鎌倉を守る党代表の重黒木ゆうへいは、現職議員と連携し、外国人基本法の法案作成にも携わりました。今後もその知見と連携を活かし、問題解決に向けて邁進いたします。

